

令和3年度使用中学校用教科用図書（教科名「社会科公民的分野」）の採択結果等について

広島大学附属三原中学校

種目	発行者	採択理由
社会科 公民的分野	東京書籍	<p>○基礎・基本の定着に関わって</p> <p>興味・関心を高める導入資料を提示し、1時間の学習の見通しを持たせる「学習課題」を示し、「深い学び」を効果的に実現する補助的な問いを設定している。また、基礎・基本を確認し、要約や説明をする言語活動の2段階で学習課題を解決していくことで、学習内容を確実に定着させるための工夫が図られている。</p> <p>○主体的に学習に取り組む工夫に関わって</p> <p>「問い」を軸にした単元の「構造化」による課題解決的な学習を実現するために、単元の「導入の活動」で、単元全体を貫く「探究課題」を立て、課題をつかみ、授業ごとに課題を追究し、探究課題を解決するといった工夫がなされている。</p> <p>○内容の構成・配列に関わって</p> <p>単元構成は、学習指導要領の内容・区分に準拠している。生徒の発達段階、年間配当時間にも配慮し、さらに歴史学習、地理学習との関連も図られている。生徒が多面的・多角的に考察できるようにバランスの取れた資料の選定、本文の記述がなされている。</p> <p>○内容の表現・表記に関わって</p> <p>文字は適度な大きさと読みやすく、写真は鮮明なものを掲載し、図表・図解資料は明るく見やすい。図版、イラスト、写真等の資料類は本文の記述と関連づけて掲示されている。</p> <p>○言語活動の充実に関わって</p> <p>小集団での参加型学習を適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしている。また、公民学習の最後では、持続可能な社会を形成するという観点から、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる場面が設定されている。</p> <p>○本校の研究に関わって</p> <p>社会的な「見方・考え方」を確実に捉えさせ、捉えた見方・考え方を働かせた授業場面を設けることで、社会的事象や現代的な諸課題を、多面的に深められ、「レジリエンス」の育成や概念・法則などの汎用性の高い「横断的な知識」（深い学び）の育成や獲得につなげていくことができる。</p>

